

# NJC Salon Manager Ver6

## マニュアル

### マスタ 篇



## ■ 目次

• マスタ	.....	3
• スタッフマスタ	.....	4
• 顧客マスタ（カルテ）	.....	5
• 技術(商品)マスタ	.....	6
• 技術（商品）マスタ		
• 技術（商品）分類マスタ		
• 技術（商品）小分類マスタ		
• 来店動機マスタ	.....	29
• 単位マスタ	.....	30
• 敬称マスタ	.....	31
• 顧客分類マスタ	.....	32
• 売上分類マスタ	.....	33
• 部門マスタ	.....	34

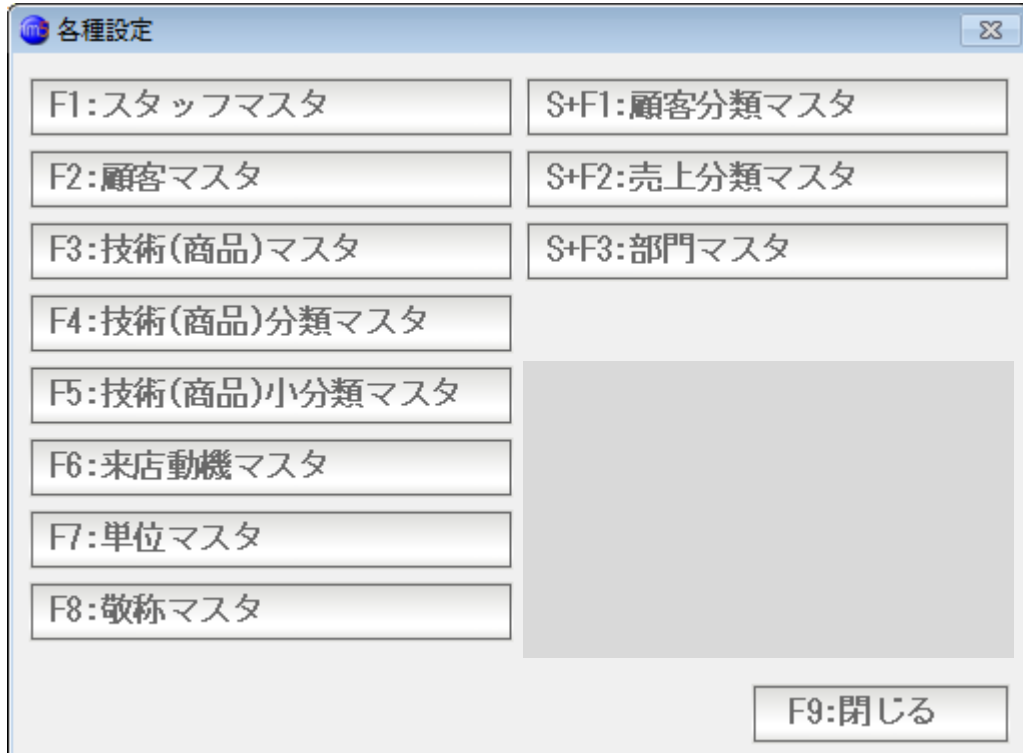
## マスタ

コピー・加工を行う前の元のデータとしての設定値をマスタ、といいます。  
NJC Salon Manager では、主に、「顧客カルテ」と「売上傳票」を入力するために  
あらかじめ用意しておく一連のデータ群（データ・グループ）をマスタと呼びます。

台帳という呼び方がわかりやすいかも知れません。



F8：各種設定 を 押します。



NJC Salon Manager で用いるマスタ（台帳）です。機能のボタンを押します。



## 顧客マスタ（カルテ）

顧客マスタ

顧客コード 714 新規登録  
加付No 714 空番検索 失客にする  
顧客名 様  
〒 住所→〒  
住所1 地区  
住所2  
電話番号 FAX番号  
携帯電話  
生年月日 年 月 日  
性別 2 1:男性 2:女性  
分類1  
2  
3  
主担当スワ 3 フリー 美容室部門

PCメール 送信 [備考]  
携帯メール 送信  
DM 1 1:発送する 2:しない  
PCメール 1 1:送信する 2:しない  
携帯メール 1 1:送信する 2:しない  
来店動機  
家族備考 [Ctrl]+F  
来店ランク E:なし  
金額ランク J:利用金額なし

伝票No	日付	時間	担当	技術(商品)
				※平均
				※累計
				※来店ベース
				※次回来店予想日

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8機能 F9終了

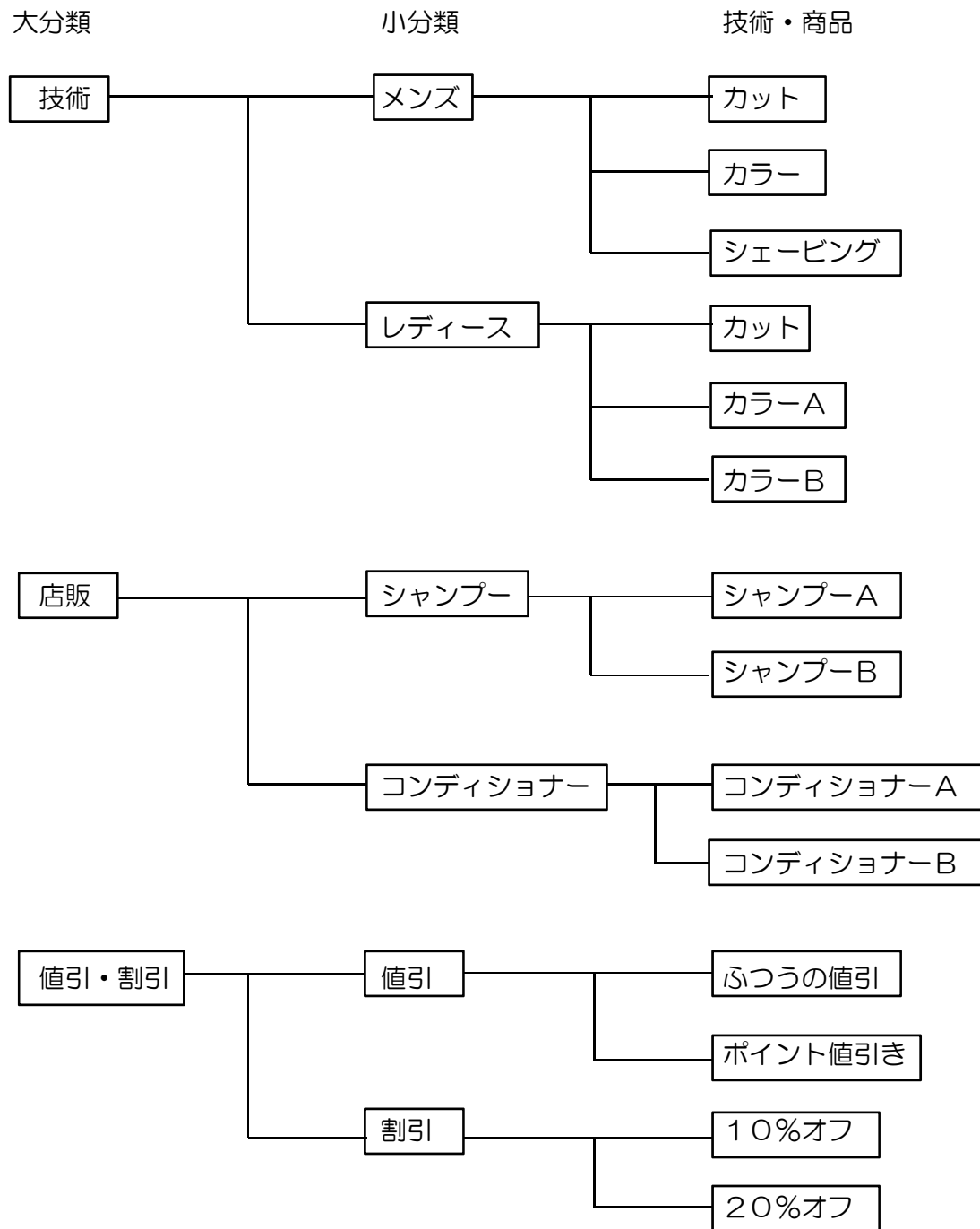
顧客マスタ＝カルテです。

詳しくは「顧客マスタ」マニュアルをご覧ください。

技術・商品は、あとから分析できるように

大分類・小分類・そして実際の技術と商品に分かれます。

(例)



このような階層構造をもった管理構造です。

< 技術分類マスタ の 設定 >

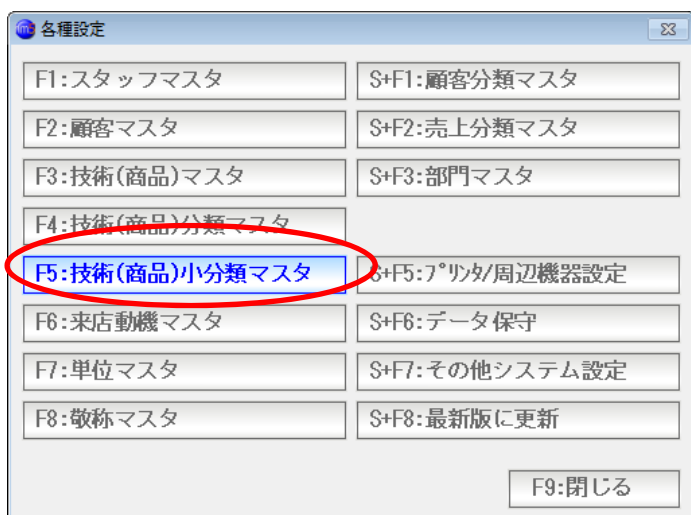
技術 店販 割引 ポイント使用 の 4つが設定されています。

通常はこのまま使います。

< 技術小分類マスタ の 設定 >



F8:各種設定をクリック



F5:技術(商品)小分類マスタをクリックします。

技術小分類マスタ

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別

消費税区分

ポイント

F1出力  F3削除  < << >> > **F5検索** F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

画面が開きます。最初にどのような設定が入っているかを見るために「F5:検索」を押します。

技術小分類の検索

コード

フリガナ

技術分類

コード	技術分類	技術小分類名
1	技術	カット
2	技術	シャンプー
3	技術	カラー
4	技術	パーマ
5	技術	ストレート
6	技術	着付
7	技術	特殊
8	技術	その他技術
12	技術	値引
13	技術	割増
9	店販	店販シャンプー
10	店販	店販コンディショナー
11	店販	その他店販
14	割引	割引
15	ポイント使用	ポイント利用

15個のデータが入っています。

このまま使えれば良いのですが、変更の必要がありそうです。ここでは、データを呼び出して上書き（再登録）して設定する方法を紹介します。

1 技術      カット      と表示されている 1 行目をマウスでダブルクリックしてください。



技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類  ▼ 技術

種別  1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分  1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント  1:対象 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

1番のカットが表示されました。まず、名称を変更します。  
「メンズ」と入力します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類  ▼ 技術

種別  1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分  1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント  1:対象 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

次に「大分類」＝技術分類を確認します。この「メンズ」は技術ですから、このまま1番で良いわけです。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類  ▼

種別   2:割引 3:ポイント利用

消費税区分  1:税別  3:非課税

ポイント   2:非対象

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

次に種別です。

種別には、コンピューターの自動処理の都合で3つあります。

- 1 技術(商品)・・・ 単価を設定し、売上として加算していきます。  
カットやパーマなどの技術（施術）、店販商品など  
通常の商品の種別は、すべて「1 技術（商品）」になります。
- 2 割引・・・・・・・・ 合計金額の10%を値引くなどの割引計算をする種別です。
- 3 ポイント利用・・・ ポイント制を行う場合に、例えば 5ポイントで500円  
値引くなど、ポイントとの連動値引きをする種別です。

「メンズ」は、単価×数量を売上とする種類のものですから 1 に設定します。

消費税区分は、通常は「お店情報の設定」で設定したまま、です。  
医療商品などで非課税にしたり、特殊な場合に設定します。  
ここでは、2：税込のままにします。

ポイント区分は、ポイント制で商品ポイントを利用する場合に、対象とするものかどうかを設定します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別

消費税区分

ポイント

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 **F7登録** F8複製 F9終了

変更した内容をデータ登録するために「F7:登録」をクリックします。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別

消費税区分

ポイント

F1出力  F3削除  < << **>>** > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

次のデータを表示させるために「>>」ボタンをクリックします。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類  ▼ 技術

種別  1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分  1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント  1:対象 2:非対象

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

1番の次の「2番」シャンプーが表示されました。

レディースと入力し、 1：技術、1：技術（商品）、2：税込、1：対象 で  
F7:登録し、「>>」で次のデータにうつります。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類  ▼ 技術

種別  1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

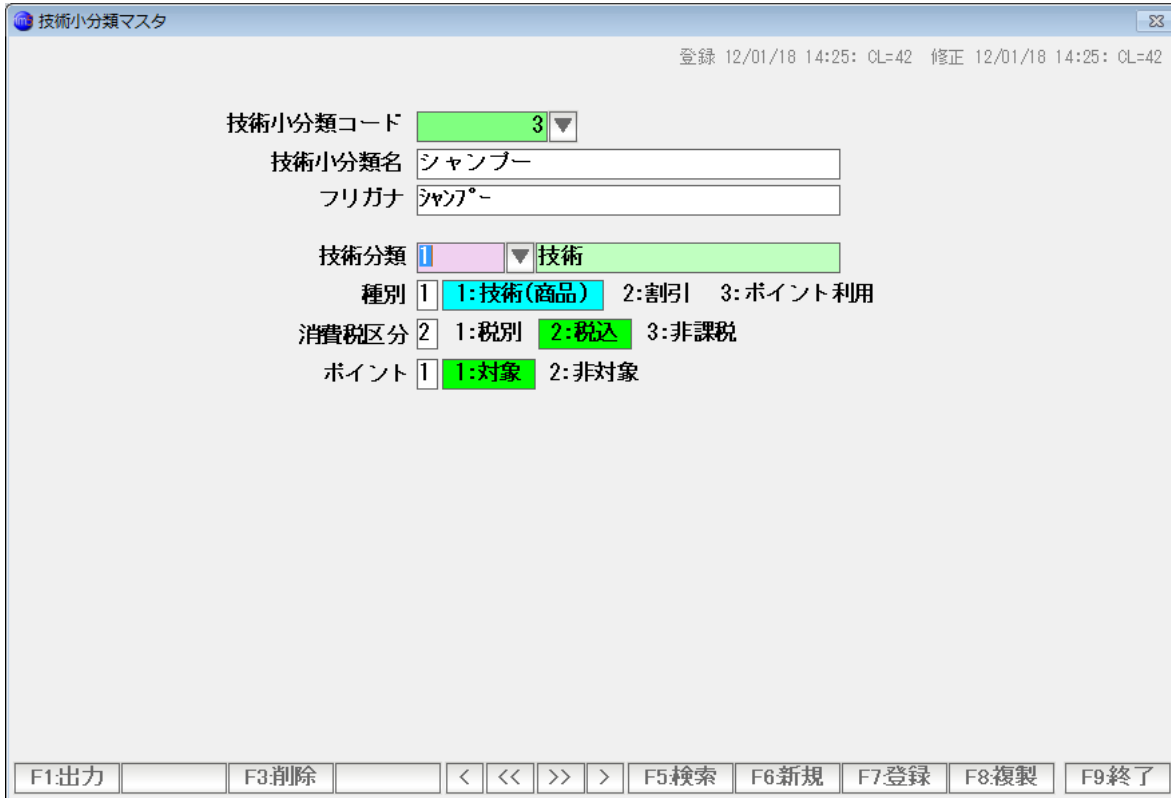
消費税区分  1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント  1:対象 2:非対象

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

3番が表示され「カラー」と入っています。

今度は、シャンプー と入力します。



技術小分類コード 3

技術小分類名 シャンプー

フリガナ シャンプー

技術分類 1 ▼ 技術

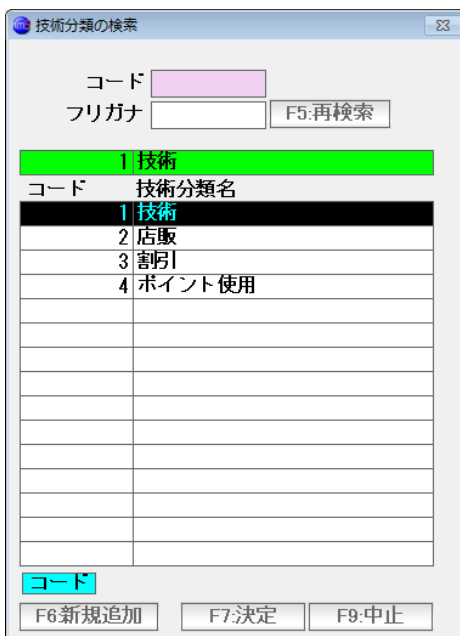
種別 1 1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 2 1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント 1 1:対象 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

技術分類（大分類）は、1：技術ではないので、ここで f 4キーまたは Shift+End または Alt + ↓キーを押すか、「▼」ボタンを押します。



コード

フリガナ F5:再検索

コード	技術分類名
1	技術
2	店販
3	割引
4	ポイント使用

コード

F6新規追加 F7:決定 F9:中止

技術分類（大分類）の一覧窓が表示されます。

2:店販 を ダブルクリックするか  
↓↑キーで選択し「F7:決定」を押します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別   2:割引 3:ポイント利用

消費税区分  1:税別  3:非課税

ポイント   2:非対象

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 **F7登録** F8複製 F9終了

2：店販と入力されました。

種別、消費税区分、ポイント区分は、このままですから「F7：登録」を押します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別   2:割引 3:ポイント利用

消費税区分  1:税別  3:非課税


ポイント   2:非対象

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

次のデータに移動します。

4番は、「コンディショナー」 「2：店販売」 「技術（商品）」「税込」「対象」で「F7：登録」します。

ここまでの、一度「F5：検索」を押して 一覧を表示してみましょう。



コード	技術分類	技術小分類名
1	技術	メンズ
2	技術	レディース
5	技術	ストレート
6	技術	着付
7	技術	特殊
8	技術	その他技術
12	技術	値引
13	技術	割増
3	店販	シャンプー
4	店販	コンディショナー
9	店販	店販シャンプー
10	店販	店販コンディショナー
11	店販	その他店販
14	割引	割引
15	ポイント使用	ポイント利用

1：技術 - メンズ、 2：技術- レディース は さきほど上書き（再登録）しました。

3：店販 - シャンプー 4：店販-コンディショナーは、少ししたの「店販」の分類の中にあります。

「F9：中止」を押して、続きの設定を行いましょう。

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別  1:技術(商品)  3:ポイント利用

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

5番は「値引き」で、分類は「3：割引」にします。  
 しかし種別は「1：技術（商品）」にします。

これは、種別の「2：割引」は、〇〇%値引きを行う特殊な種別ですので  
 普通に例えば、「はじめての方、御値引き1000円」というように、金額を引き算する場合  
 には種別は、1：技術（商品）、にします。

「2：割引」は、足し算や引き算ではなく、割り算を使うときに使います。

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別  1:技術(商品)  3:ポイント利用

消費税区分  1:税別  3:非課税

ポイント  1:対象

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

設定できたら、「F7：登録」で登録し「>>」で次に移動します。



技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/20 15:39: CL=1

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別  1:技術(商品)  3:ポイント利用

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

6番は「割引」で、分類は「2：割引」にします。

種別は「2：割引」（そのまま）にします。

設定できたら、「F7：登録」で登録し「>>」で次に移動します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類  ▼ 技術

種別  1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分  1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント  1:対象 2:非対象

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

7番は不要ですので「F3：削除」を押します。

重要操作の確認

**このデータを削除するにはパスワードが必要です。**

**削除用パスワードを入力し[OK]を押してください。**

F7:OK F9:中止

データを削除する場合には、このような確認窓が表示されます。パスワードを入力しF7：Okをクリックすると、削除されます。

パスワードは初期値では「99999」です。

技術小分類マスタ

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別   2:割引 3:ポイント利用

消費税区分  1:税別  3:非課税

ポイント   2:非対象

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

削除すると、「新規登録」になります。

さきほど削除した7番の次の8番も削除したいので、「F5：検索」を押して一覧窓を表示、

技術小分類の検索

コード

フリガナ

技術分類

**8 その他技術**

コード	技術分類	技術小分類名
1	技術	メンズ
2	技術	レディース
8	技術	その他技術
12	技術	値引
13	技術	割増
3	店販	シャンプー
4	店販	コンディショナー
9	店販	店販シャンプー
10	店販	店販コンディショナー
11	店販	その他店販
5	割引	値引
6	割引	割引
14	割引	割引
15	ポイント使用	ポイント利用

8番をダブルクリックするか、または ↓↑キーで選択し、「F7：決定」を押します。

8番が表示されたら「F3：削除」で消します。  
これを繰り返して下さい。

技術小分類の検索

コード

フリガナ  F5:再検索

技術分類  ▼

**1 メンズ**

コード	技術分類	技術小分類名
1	技術	メンズ
2	技術	レディース
3	店販	シャンプー
4	店販	コンディショナー
5	割引	値引
6	割引	割引

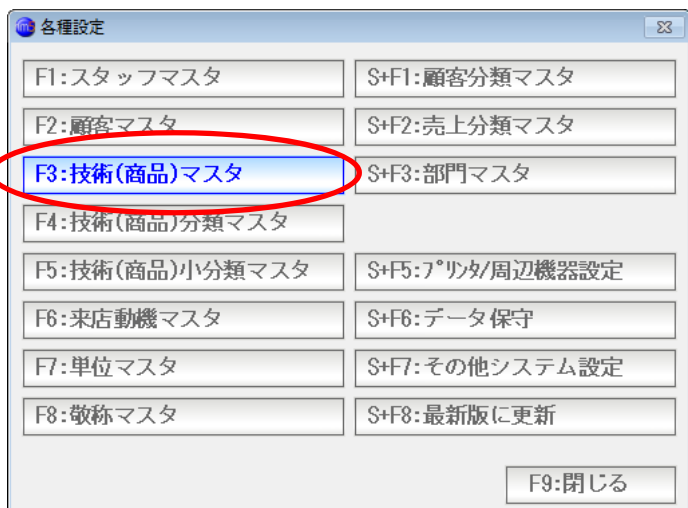
コード  F7:決定 F9:中止

できあがりしました。

< 技術・商品マスタ の 設定 >



F8:各種設定をクリック



F3:技術(商品)マスタをクリックします。

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード

技術分類  ▼

技術小分類  ▼

種別 1: 1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

消費税区分 2: 1:税別 2:税込 3:非課税

売単価  (円)  
 (円)  
 (円)  
 (円)  
 (円)

単位  ▼

特徴 [特徴] [Ctrl]+T

備考 [備考] [Ctrl]+B

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

画面が開きます。  
 まず「カット」を登録してみましょう。

技術分類の右の「▼」を押すか、F4 キー、または Shift+End または Alt+↓を押して

技術分類の検索

コード

フリガナ

コード	技術分類名
1	技術
2	店販
3	割引
4	ポイント使用

コード

一覧窓を表示、選択して入力します。

技術小分類も同様にして入力します。  
 商品名を入力すると

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード

技術分類  技術

技術小分類  メンズ

種別  **1:技術(商品)** 2:割引 3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

消費税区分  1:税別 **2:税込** 3:非課税

売単価  (円)

(円)

(円)

(円)

(円)

単位

特徴 [特徴]

備考 [備考]

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

種別と消費税区分は、さきほど「技術(商品)小分類マスタ」で設定されたように自動入力されます。

売単価を設定します。

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード

技術分類  技術

技術小分類  メンズ

種別  **1:技術(商品)** 2:割引 3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

消費税区分  1:税別 **2:税込** 3:非課税

売単価  (円)

(円)

(円)

(円)

(円)

単位

特徴 [特徴]

備考 [備考]

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

1050円としてみました。

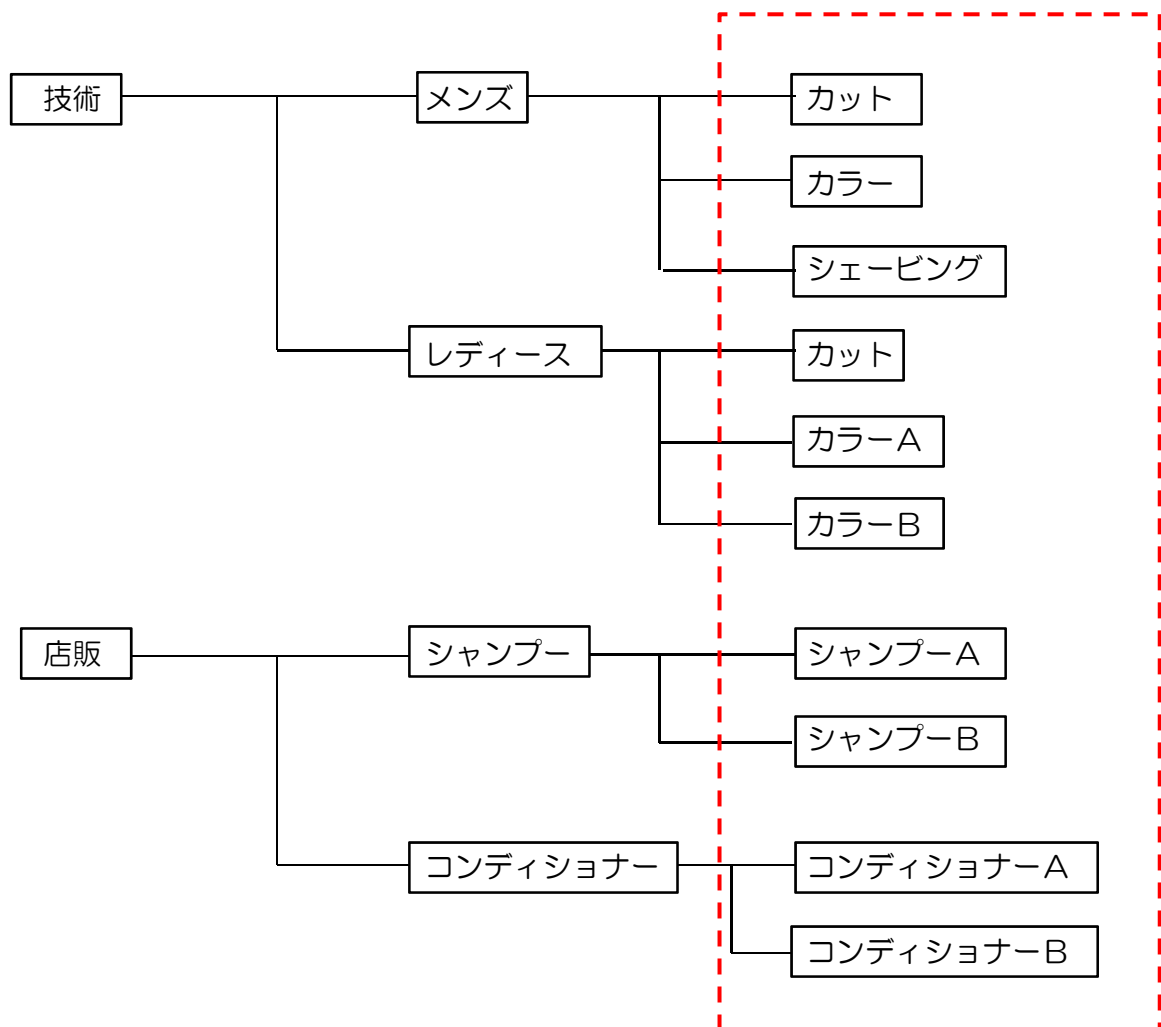
5つの枠がありますが、これは、顧客ランク（来店回数や、金額によるランク）によって、単価を変えるときに使うためにあります。（通常は使いません）

入力できたら、「F 7：登録」を押して登録し、「>>」ボタンで次へ移動し次の商品を入力します。

これを繰り返します。

間違った場合は、「<<」で戻ったり

F 5：検索で一覧表示し、呼び出して修正します。修正後は「F 7：登録」を押して登録します。



これを繰り返して、技術と商品を入力していきます。



技術(商品)の検索

コード

フリガナ  F5:再検索

技術分類  ▼

技術小分類  ▼

**11 カット(技術-メズ)**

コード	技術分類	技術小分類	技術(商品)名
11	技術	メズ	カット
12	技術	メズ	カラー
13	技術	メズ	シェービング
14	技術	ヘアース	カット
15	技術	ヘアース	カラーA
16	技術	ヘアース	カラーB
1	技術		雑品番
2	技術		技術(その他)
17	店販	シャンプー	シャンプーA
18	店販	シャンプー	シャンプーB
19	店販	コンディショナー	コンディショナーA
20	店販	コンディショナー	コンディショナーB
3	店販		店販(その他)
4	割引		値引
5	割引		割増

コード  F7:決定 F9:中止

「F5：検索」で一覧窓を表示してみると、上図のようになりました。

雑品番や、技術（その他）、店販（その他）など、最初から入っているものも残っていますが、不要でしたら削除してください。

ふつうの値引きを入力します。

「F6：新規」で新規登録画面にしてから

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード  新規登録

技術分類  割引

技術小分類  値引

種別  1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

消費税区分  1:税別 2:税込 3:非課税

売単価  (円)

(円)

(円)

(円)

(円)

単位

特徴 [特徴] [Ctrl]+T

備考 [備考] [Ctrl]+B

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

分類、小分類、名称を設定し、「売単価」は空白のまま「F7：登録」します。

売単価は、売上入力「レジ」時に手入力も出来ます。

この「値引き」は自由に、その場でその場で入力するために空白にしておきます。

もし、(例えば) -2000と「売単価」にマイナス値を設定すると

売上入力「レジ」時に、-2000と表示されます。

表示されても手で修正出来ます。

次にポイント値引きを入力します。

※ポイント機能は「PROFESSIONAL 版」でのみ使えますので、この事例が操作できない場合があります。その場合は、読み飛ばして下さい。

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード

技術分類  ▼ 割引

技術小分類  ▼ 値引

種別  1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

値引金額  ポイント利用で  円値引き

特徴 [特徴]  
[Ctrl]+T

備考 [備考]  
[Ctrl]+B

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

例えば、5 P利用で、525円の場合の設定です。

種別を3：ポイント利用にすると、  
(お店情報設定で、ポイントを使う設定になっていると)

値引金額の項目が表示されます。

「F7：登録」します。

割引を入力します。

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード

技術分類

技術小分類

種別  1:技術(商品)  3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

割引方法  1:税抜金額から

割引率  (% OFF)

特徴 [特徴]  
[Ctrl]+T

備考 [備考]  
[Ctrl]+B

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

割引の場合には、「割引率」と、税別金額から引くのか、税込金額から引くのかを設定することができます。

10%オフや20%オフなど、%毎に商品を作成して下さい。

売上入力(レジ)画面では、売上金額の合計から、(税別または税込)で割り算し値引きします。

- ※ 便利な自動機能ですが、価格体系によっては、非常にわかりにくく使い勝手の悪いものになるケースがあります。  
この場合は、「2:割引」の種別は使わないで  
「1:技術(商品)」種別で、手計算+手入力による値引きとしてください。

すべての設定が終わったら「F9:終了」で画面を閉じます。

## 来店動機マスタ

来店動機コード

来店動機

フリガナ

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

顧客マスタ（カルテ）に設定する 来店動機を設定します。

コード

フリガナ

コード	来店動機
1	顧客からの紹介
2	スタッフからの紹介
3	フリー
4	DM
5	再来新規
6	カットモデル
7	TV・CM
8	ホームページ
9	他

---

## 単位マスタ

---

売上入力・商品で使う単位を設定するマスタです。

単位マスタ

単位コード

単位

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

単位の検索

コード

コード	単位
1	回
2	個
3	パス
4	回目

F7:決定  F9:中止

---

## 敬称マスタ

---

顧客マスタ（カルテ）で入力する 顧客の敬称を設定するマスタです。

敬称マスタ

敬称コード

敬称

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索  F6新規  F7登録  F8複製  F9終了

敬称の検索

コード

コード	敬称
1	様
2	御中
3	殿
4	先生
5	ちゃん
6	さん
7	くん

F7:決定  F9:中止

## 顧客分類マスタ

顧客マスタ（カルテ）で、顧客の分類を行う場合に設定するマスタです。

顧客分類マスタ

顧客分類コード

顧客分類

フリガナ

省略記号

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索  F6新規  F7登録  F8複製  F9終了

顧客分類の検索

コード

フリガナ

コード	顧客分類	般
1	一般	般
2	喫煙者	煙



---

## 売上分類マスタ

---

売上入力時に、売上を分類する場合に設定するマスタです。

売上分類マスタ

売上分類コード 2 ▼ 新規登録

売上分類

フリガナ

1:規定値とする 2:しない

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

---

## 部門マスタ

---

支店（店舗）や、事業内容を分類するために設定するマスタです。

部門マスタ

部門コード

部門名

1:規定値とする  2:しない

F1出力  F3削除  < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

部門の検索

コード  F5:再検索

コード	部門名
1	美容室部門(規定値)
1	美容室部門(規定値)
2	着物着付部門
3	ネイルサロン

F7:決定 F9:中止

通常は、技術（商品）の分類で管理しますが、あえて事業区分が異なるなどのときに使ってください。